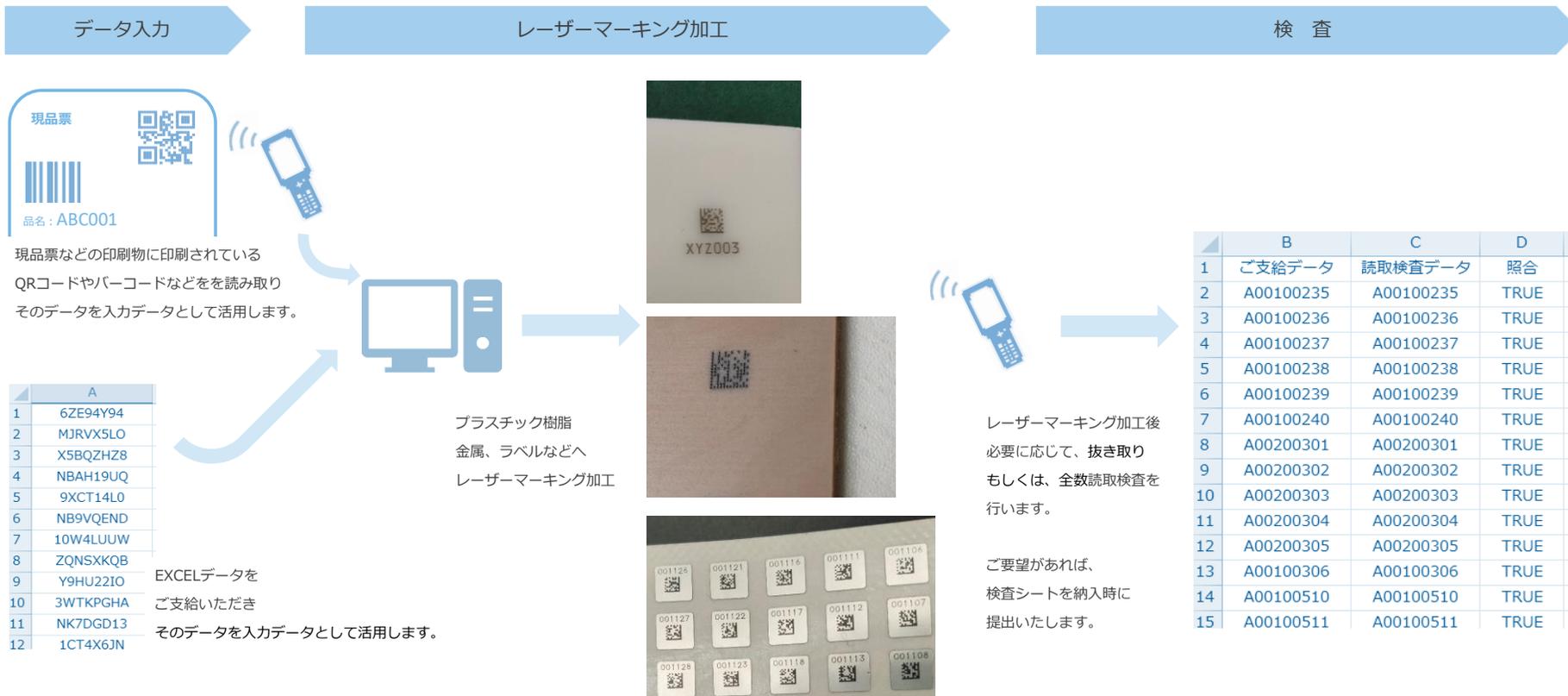


## 可変データ レーザーマーキング加工

可変データのレーザーマーキング加工を行う場合、お客様からさまざまな形でデータをご支給いただきレーザーマーキング加工を行っております。



可変データのレーザーマーキング加工を行う場合、お客様から、エクセルデータや2次元コード、バーコードなどの印刷物など、さまざまな形でデータをご支給いただけます。そして、製品に直接レーザーマーキング加工をおこなったり、レーザーマーキングラベルを発行することが可能です。

例えば、すでに製品に添付された2次元コードのラベルを読み取り、そのシリアル番号をその製品の指定箇所へレーザーマーキング加工を行います。

また、レーザーマーキングされたバーコードや2次元コードが正確にデータ通りマーキングされ、かつ読み取れるか照合検査を行います。必要であれば、抜き取りもしくは全数検査を行い、検査表を納品時に添付することも可能です。

レーザーマーキングだけでなく、印字方法を熱転写ラベルプリンタにてラベルを発行することも可能です。その用途に合わせ印字方法（マーキング）をご提案することができます。

詳細は、タック印刷 営業までお問い合わせください。

可変データ印刷（variable data printing）とは、設定されたテンプレートの中に、それぞれ異なる情報を印刷加工することを指します。

例えば、1枚1枚、異なる情報が格納された2次元コードが印刷（印字）されたラベルです。

全体のデザインや書式はすべて一緒なのですが、2次元コードやバーコードなどが異なってくるため、1枚1枚印刷物の情報が異なる仕上がりとなります。

<https://www.takprint.co.jp/>